

学童保育クラブ育成料のあり方の検討開始について

学童保育クラブ育成料に関する現状を踏まえ、適正な育成料のあり方の検討を行うため、2024年4月25日に「町田市子ども・子育て会議」に諮問し、その下に設置された「育成料のあり方検討部会」にて検討を開始したことについて、報告します。

1 検討の経緯

2016年度の「町田市子ども・子育て会議」の下に設置された「育成料のあり方検討部会」において、「今後の育成料のあり方見直しは、社会の経済的な動向を考慮して、概ね3～5年程度で行うことが望ましい」という意見がありました。

この意見を受け、2021年度の検討を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により延期したため、2024年度に改めて検討を行います。

2 育成料に関する主な現状

(1) 2018年度の料金改定

学童保育クラブのニーズの多様化に対応し、適切な人員の配置や保育の環境整備などを行うため、2016年度の「育成料のあり方検討部会」での提言に基づき、2018年度から月額6,000円を9,000円に改定しました。

また、応能負担の考え方を拡大して、所得段階に応じた減免区分の細分化や多子世帯への軽減措置を行いました。

(2) 他市との比較

2023年度現在、町田市の育成料は、多摩26市の中では最も高い金額（9,000円）です。また、減免制度を適用した市民税均等割のみ課税世帯の育成料（3,000円）は、多摩26市の中で3番目に低い金額です。

(3) 受益者負担割合

町田市の「受益者負担の適正化に関する基本方針」において、学童保育クラブ育成料の受益者負担割合（総費用に対する利用料金収入の割合）は、50%が適正とされています。

3 検討の進め方

(1) 市民の意見や国・都の動向、他市の状況等について情報収集し、分析を行います。

(2) 受益者負担を踏まえシミュレーションを行い、現在の育成料の妥当性を検討します。

4 今後のスケジュール

2024年6月～2025年2月

子ども・子育て会議及び育成料あり方検討部会での検討

7月 学童保育クラブの育成料（利用料）に関する意識調査の実施

2025年2月 子ども・子育て会議 答申

3月 2025年第1回議会定例会 行政報告